Ⅱ 事 業

1 事業実績の概要(総括)

本年度の事業計画に基づく事業実績の概要は次のとおりです。

事業区分	計画		 実	 施		要		
<公1> (1)健康情報ライブ ラリ事業	教材貸出 延べ1, 200件	○健康に関する情報の調査、収集及び提供 地域保健活動に使用するDVDや測定機器等の健康教育教材 を整備し、専門材質に登出した行いました。						
		市 (保 (貸出先件数 件296 23 14 28 33 13 10 23	貸出数 作 653 55 40 69 94 42 16		件 76 2 6 28 0 13 4	 直類別内語 パネル 件 42 33 6 2 20 20 7 130 	
(2)生活習慣病地域 特性評価事業	解析評価事業 1事業	生活習慣病 主要死因につ ・委託契約先	いての調		しました	-0	道内各市田	打村の
<公2> (1) プライマリ・ ケア推進事業	開催回数 全道 3回 地域80回 受講者数 6,000人	○地域と はは を情に知、 をしを施める をしたが、 をしたが、 をしたが、 をしたが、 をは、 をは、 をは、 をは、 をは、 をは、 をは、 をは	の 専 明 に の に の に を の に を の に を の に を の に に の に の に に 。 に に 。 に に 。 に に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	が ボルに 大 ボルに 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	診療医等	手業」や道 う防や治療 北海道图	道内各地域 繁に関する 変を対象 主実施 に師会	域の住 る正し 委託 10回

事業区分	計画	実 施 概 要
(2)特定保健指導 実践指導者育成 研修事業	受講者数 80人	特定健診・特定保健指導を実施する初任者に対して、効果的な保健指導を行うために必要な基本知識と技術の向上を図り、 生活習慣病予防を推進するための人材を育成することを目的と して研修会を開催しました。
		· 主 催 財団、北海道、北海道糖尿病対策推進会議
		・開催時期 令和元年6月27日 (木) ~6月28日 (金)
		・開催場所 北海道医師会館(札幌市)
		・対象者 各医療保険者に所属する医師・保健師・管理栄養士
		・受講者数 93人 なお、本研修の受講者には修了証を交付しました。
		受 講 者 数 修了証
		保健師 管理 計 交付者数
		市町村国保 53 13 66 66
		国保組合 0 0 0 0 0 億保組合 1 0 1 1
		共済組合 1 0 1 1
		保健所 3 3 6 6
		その他 16 3 19 19
		合 計 74人 19人 93人 93人
(1)健康づくり広報事業	1回	づくりに関わる情報交換を行いました。 本実行委員会のホームページを活用し、地域住民向けの健康 イベント等の情報を掲載する「ヘルスプロモーションネット ワーク事業」等を実施しました。 ・北海道健康づくり実行委員会構成団体 ・北海道健康づくり財団、北海道医師会、北海道歯科医師会、 北海道薬剤師会、北海道看護協会、北海道栄養士会、 北海道対がん協会、北海道国民健康保険団体連合会
		2. 受動喫煙防止対策に関する事業
	禁煙パネル展 禁煙パレード	喫煙の健康への影響について、道民の理解を深めるため、北 海道禁煙週間実行委員会等関係団体と連携し、次のとおり事業 を実施しました。
	各1回	
		・世界禁煙デー 5月31日(金)
		・禁煙週間 5月31日(金)~6月6日(木)
		・実施内容
		○禁煙ポスター懸賞募集
		応募作品数 262点(一般127点・小中生135点)
		〇「No-Tobacco展」
		開催場所 道庁ロビー 閲覧者数 288人
		○禁煙パネル展
		開催場所 地下街オーロラコーナー (札幌市)

事 業 区 分	計画	実 施 概 要
		○禁煙イベントへの協賛
		・開催時期 令和元年6月1日 (土)
		· 開催場所 札幌駅前通地下歩行空間
		・参加内容 ポスター入選作品展示・禁煙リーフレット等配布
		・参加人数 約100人
	開催回数	3. がん予防普及啓発に関する事業
	1回	
		め、がん予防道民大会実行委員会に参画し、「第51回がん予防 道民大会」を開催したほか、北海道がん対策「六位一体」協議
		会に参画し、「北海道がんサミット2019」を開催しました。
		[がん予防道民大会]
		・開催時期 令和元年10月11日(金) ・開催場所 たきかわ文化センター
		・参加人数 約850人
		[北海道がんサミット]
		・開催時期 令和元年9月14日(土)
		・開催場所 札幌プリンスホテル国際館パミール
		・参加人数 約150人
(2)健康運動普及 推進事業	開催数 5市町村	ウォーキング及びノルディックウォーキングによる健康づく りを道民に広く普及させることを目的に「すこやかロード」を 利用したウォーキング大会等を市町村や関係団体との共催によ
		り開催しました。
		1. ノルディックウォーキングを中心としたウォーキング大会の開催
		開催市町村開催時期参加者数
		枝 幸 町 令和元年5月19日(日) 36人
		中札内村 令和元年10月14日(月・祝 85人 85人
		2. 北の都札幌ツーデーウォークの開催
		・開催時期 令和元年6月22日 (土) ~23日 (日)
		・開催場所 札幌市
		・参加人数 1,834人 (延べ) 3. おおたき国際ノルディックウォーキングの開催
		3. ねねにさ国際ノルティックリオーキンクの開催
		・開催場所 伊達市大滝区
		・参加人数 435人
		4. ノルディックウォーキング普及推進員養成講習会の開催
		道立保健所との共催によりノルディックウォーキングの普及推 進員を養成する講習会を開催しました。
		開催市町村 開催時期 修了者数
		北 見 市 令和元年5月18日(土) 23人

事 業 区 分	計画	実 施 概 要
(3)糖尿病講演会 開催事業	開催数 2市町村	門医及び療養指導工などによる「糖尿病講演会」を追りと地域で開催しました。
		・主 催 財団、北海道糖尿病対策推進会議、北海道医師会、 日本糖尿病学会北海道支部、北海道糖尿病協会、 郡市医師会、北海道、開催市町村
		開催市町村 開催時期 参加者数
		羅 臼 町 令和元年7月6日(土) 54人
		弟 子 屈 町 令和元年12月6日(金) 95人
(4) 女性アスリート 健康支援講演会 等開催事業	開催回数 1回	道民に対して、女性アスリート特有の健康問題に関する正しい知識の普及啓発を図るため、「女性アスリート健康サポート北海道」と協働し、スポーツ専門医及び栄養士によるセミナーを令和2年3月20日に開催予定としていましたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、本事業は中止としました。
(5) 地域保健特別活動推進事業	対象事業 3事業	道民に対して、歯、薬及び食育に関する正しい知識や情報を提供し、道民一人ひとりの健康意識の醸成や正しい健康習慣の定着を図ることを目的に、各分野の専門団体と協働で健康教育事業を実施しました。 1. 「道民公開講座」の開催 ・主 催 財団、北海道歯科医師会・開催内容 講演「認知症専門医が教える! 脳の老化を止めたければ歯を守りなさい!」・開催場所 札幌パークホテル・参加人数 約650人 2. 「薬に関するパネル展及び薬物乱用防止キャンペーン」の開催・主 催 財団、北海道薬剤師会・開催内容 パネル展示、講演会等・開催時期 パネル展 令和元年10月21日(月)~27日(日)薬物乱用防止キャンペーン 令和元年12月15日(日)・開催場所 道庁ロビー、札幌駅前通地下歩行空間他(パネル展)ウイングベイ小樽(薬物乱用防止キャンペーン)・参加人数 パネル展 1,200人
		薬物乱用防止キャンペーン 618人 3. 食育推進事業の実施 ・主 催 財団、北海道食生活改善推進員協議会 ・開催内容 おやこの食育料理教室、高齢者料理教室 ・開催時期 令和元年6月~令和2年2月 ・開催回数 おやこの食育料理教室 77回、高齢者料理教室 102回 ・参加人数 おやこの食育料理教室 1,660人、高齢者料理教室 1,946人

事 業 区 分	計画	実 施 概 要
<公4>	記定市町村 6市町村 認定コース 10コース 助成市町村 3市町村	○健康づくり促進に対する助成 北海道と協働して、市町村が整備した健康づくりに有効な各要素を満たしているウォーキングロードを「すこやかロード」に認定しました。 ・認定市町村 2市 ・認定コース 3コース ・市町村及びコース名称 市町村 コース名 北見市 東陵運動公園コース 滝川市〜スカイパークコース〜A・Bコース 滝川市〜ふれ愛の里コース また、認定市町村が本ロードを活用した「すこやかロード関連事業」に助成しました。
(2)健康づくり推進地域支援事業	助成対象 55市町村	 ・助成市町村 3市町村 函館市、枝幸町、小平町 ・助成限度額 150千円 「すこやか北海道21」の柱である「生活習慣の改善」と「生活習慣病の予防」に関する健康教育事業や特定健診・特定保健指導関係事業を行う市町村に対して、事業の実施に必要な経費を助成しました。 ・助成市町村 55市町村・助成限度額 200千円 ・延べ参加人数 20,237人
	講師数 30人	また、市町村、保健所が主催する健康教育関連事業の講師に 係る経費を助成しました。 ・講師数 20人 ・講師謝金限度額 50千円 ・延べ参加人数 1,237人

事 業 区 分	計画	実 施 概 要
<公5> (1) 救急医療情報シ ステム運営事業	案内件数 80,000件	○救急医療情報システムの運営北海道から委託を受けて北海道救急医療・広域災害情報システムを運営しました。
	情報登録件数 60,000件 情報検索件数 320,000件 (うち、一般道民による情報検索件数 インターネット130,000件 スマートフォン 40,000件 携 帯 電 話 10,000件)	 ・参加機関(医療) ・ リ (血液センター) ・ り (消防) ・ 実内件数 275機関 5機関 127機関 54,973件
<公6> (1)高齢者緊急通報 システム運営事 業	受託市町村数 45市町村 受託世帯数 1,895世帯	